

■秋田雨雀 劇作家・小説家・童話作家・新劇指導者。真実を求め続け、純粋なヒューマニストとして生きた。

あきたうじゃく

岩倉具視没・1883＝ 南津軽郡黒石町大字前町で、_失明した後に医学、産科学等を学び、黒石近辺でもっとも信頼される産科医となっていた秋田弦庵の子に生まれる。母はまつ。本名は徳三。

国民之友始・1887＝ 4歳：黒石尋常小学校に入学。同級の鳴海要吉とは良きライバルとして親交続ける。

帝国憲法発布1889＝ 6歳：

大本教・・・1892＝ 9歳：

病弱で臆病だったことから、自分を卑下する気持ちで“雨雀”と呼び、後にペンネームとする。

日清戦争始・1894＝11歳：

父のために、医学書を読んで聞かせる一方、俳人でもあった父の俳句を代書するうち、詩才が芽生え、

八幡製鉄始・1897＝14歳：青森県立第一尋常中学校(弘前高校)に入学。

田中正造直訴1901＝18歳：

教科書疑獄・1902＝19歳：早稲田大学英文科に入学、

日露戦争始・1904＝21歳：

与謝野晶子に先立って二篇の反戦詩を含む_新体詩集「黎明」を自費出版、友人鳴海要吉を通じて島崎藤村に

送って評価され、以後、親交。その後詩集を出すことはなかったが、生涯、詩への愛着をもち続け創作。

日露戦争終・1905＝22歳：

満鉄発足・・・1906＝23歳：

箭田きぬと同棲始め、

韓国反日暴動1907＝24歳：

卒業。*「同性の恋」を発表して、小説家として出発。すぐに新進作家として認められる一方、藤村の紹介で、

小山内薫の「新思潮」の編集助手となり、イブセン会の書記をつとめ戯曲創作に興味を持ち始め、

伊藤博文暗殺1909＝26歳：

「記念会前夜」、

韓国併合・・・1910＝27歳：

新浪漫派の戯曲「第一の暁」が翌年(自由劇場)で初演されて注目を集め、

大逆事件判決1911＝28歳：

「幻影と夜曲」には、坪内逍遙が雨雀の作家としての資質をたたえる序文を寄せている。「権三の死」、

明治天皇没・1912＝29歳：

正式に結婚。「埋れた春」、

大正政変・・・1913＝30歳：

島村抱月の{芸術座}創立に参画、演劇人として舞台監督や興行の仕事もするようになって行く。

第一次大戦始1914＝31歳：

沢田正二郎ら脱退して{美術劇場}を組織し、第一回公演で「埋れた春」を上演し好評で劇作家としての地位

を確立するが、経営に失敗した上、

21ヶ条要求・1915＝32歳：

身近に不幸な事件がつづいて失意のどん底、前年東京の盲学校でマッサージの勉強をしようと来日したウクライナ出身の盲目の詩人でエスペラント運動家のワシリー・エロシェンコとの出会いであった。自宅近くの鬼子母神の森を夢遊病者のようにさまよっていたとき、偶然、エロシェンコと出会い、故郷にいる年老いた盲目の父を思い出してか、親近感を覚えて話しかけ、彼の話や行動に感動、すぐにエスペラントの勉強を始め、三月ほどでほぼこの言葉を会得、人生を別の目から見ることができるようになる。以後、戯曲や童話の創作を続けながら、エスペラントの講習会でエロシェンコの通訳をしたり、自ら講演したり、また、毎年のように帰郷して、エスペラント普及に努める。

ロシア革命・1917＝34歳：

翌年にかけて、戯曲「土地」三部作、

ベルリン条約・1919＝36歳：

大暴落・・・1920＝37歳：

自身が「むしろ大人に与えるために書いた」とする童話「太陽と花園」を発表。「戯曲「国境の夜」を発表、菊池寛の「父帰る」などともに大正時代の戯曲の代表作となる。

原敬首相暗殺1921＝38歳：

神近市子と会った縁で、_日本社会主義同盟に加入、

水平社結成・1922＝39歳：

{先駆座}を結成してプロレタリア演劇運動をすすめる、

関東大震災・1923＝40歳：

「手投弾」。小坂猪二と_共著で「模範エスペラント独習」を出版。また、黒石町出身で日本のザメンホフと言われた高橋邦太郎などと共に毎年のように帰郷しエスペラントの指導普及に努め、

護憲三派圧勝1924＝41歳：

「骸骨の舞跳」で社会主義的傾向が強まる。_{黒石エスペラント会}が設立され、

治安維持法・1925＝42歳：

_県下エスペラント大会が黒石で開かれるほどになる。

金融恐慌・・・1927＝44歳：

_ソ連の革命10周年記念祭に招かれ、帰国後、プロレタリア科学研究所長となった。

共産党事件・1928＝45歳：

満州事変・・・1931＝48歳：

この頃から、エスペラント運動にも弾圧が始まり、その運動は弱まっていく。

国際連盟脱退1933＝50歳：

生誕50年祝賀会が開かれるも、暗黒の世界の到来に喜びは無いが、

帝人疑獄事件1934＝51歳：

_周辺にはいつも彼を師と仰ぐ若い演劇青年たちがおり、

二二六事件・1936＝53歳：

*半生締めくくる「五十年生活年譜」、

日中戦争始・1937＝54歳：

日米開戦・・・1941＝58歳：

敗戦・・・1945＝62歳：

新憲法公布・1946＝63歳：

樞東裁判判決・1948＝65歳：野尻与頼らによる*舞台芸術学院の創立に伴い、請われて学長となり、

朝鮮戦争始・1950＝67歳：

_小川未明の後をついで、日本児童文学者協会会長となる。協会の第1回文集コンクールに入選したのが、黒石小学校の鈴木喜代春が指導する学級文集「みつばちの子」で、これに明るい未来を見る思いを抱いて、

独立回復・・・1951＝68歳：

その子供たちに一篇の詩を送るなど、詩作する黒石の子供たちと交流しながら、

メデー事件・1952＝69歳：

「みつばちの子」が出版される。

TV放送始・・・1953＝70歳：

黒石の公園に歌碑建立。「雨雀自伝」、

55年体制始・1955＝72歳：

「日本の社会における一つの良心的存在として生きたい」と語り、平和と愛、正義と美を探究し続けて、

安保闘争・・・1960＝77歳：

黒石市名誉市民に推され、*90編の戯曲、130編を数える童話を残して、

全国総合計画1962＝79歳：

_没した。